

SUK-YOUNG KIM

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Professor of Theater and Performance Studies at UCLA School of Theatre
- K-POP Industry Expert



キム・スクヨンの研究は、東アジアのパフォーマンスと視覚文化、ジェンダーとナショナリズム、韓国の文化研究、ロシア文学、スラブの民俗学など、幅広い学問分野をカバーしています。彼女の出版物は英語、ドイツ語、韓国語、ポーランド語、ロシア語で掲載されていますが、彼女の研究は国際演劇研究連盟の新奨学生賞（2004年）、米国演劇研究フェローシップ（2006年）、米国議会図書館クルージュによって認められています。フェローシップ（2006-7）および韓国研究アカデミー研究助成金（2008、2010、2015-2020）など。

彼女の最初の著書『Illusive Utopia: Theater, Film, and Everyday Performance in North Korea』（ミシガン大学出版、2010年）は、アジア研究協会からの2013年ジェームズバレーブック賞を受賞し、国が生み出したプロパガンダパフォーマンスがどのように交差するかを探ります北朝鮮での日常生活の練習。

Topics

- Asia
- Author
- Culture
- Education
- Social Media
- Society
- Women

最近の著書『K-pop Live: Fans, Idols, and Multimedia Performance』で、Suk-Young Kimは個人のテクノロジーとソーシャルメディアの台頭に関連して韓国のポピュラー音楽の流星の上昇を調査し、熱狂的なクロスメディアパートナーシップの状況を説明しています。韓国の歴史的な文脈の中で、「生きている」「生きている」とはどういう意味かという幅広い質問の中で。このプロジェクトは、韓国のポピュラー音楽『K-pop』の急速な台頭と、デジタルコンシューマリズムの急速な上昇（高速インターネットの普及とモバイルガジェットの配布によって主に支持されている現象）を比較し、その粘り強さを示しています。1990年代初頭から現在までの韓国の歴史的な文脈におけるパートナーシップ。

K-POP業界の担当者、メディアの専門家、評論家、ファンとの綿密なインタビュー、およびアーカイブ調査に基づいて『K-POPライブ』は、業界が実質的にすべての市場でライブ音楽の厳しい販売を管理してきた方法を探りますオンラインで入手できます『K-popの制作と消費におけるデジタルメディアの「活力」の求愛をやめ、キムは、デジタル時代に人間の被験者が互いに相互作用する感情モードのニュアンスを調査します。キムはオンラインで、コンサートで、さらにはホログラフィックパフォーマーを使用してパフォーマンスを観察し、K-pop業界のメディアプラットフォームの多様化へのさまざまな取り組みを通じて、音楽消費者のより広いグローバルネットワークに到達するためのステップバイステップガイドを提供します。

彼女はまた『Kポップカルチャー』に焦点を当てたいくつかの記事を発表しました。「ブラックKポップ：人種的余剰と韓国のポップミュージックの世界的な消費」（TDR 2020年夏）；「破滅的なクリエイティブ『K-Pop』バーチャルネーション、およびカルチャーテクノロジーの復活」（TDR 2020年春）；そして、「国家を超えたアジアを探る：汎モンゴル主義とその不思議」（Verge グローバル・アジアに関する研究（2015年春）。

Kimは現在『Oxford Research Encyclopedia of Literature』の上級編集者として働いています。彼女はまた『Journal of Korean Studies and Situations』の『Cultural Studies』

in the Asian Contextの編集委員会にも参加しています。

キムは以前、ダートマス大学とカリフォルニア大学サンタバーバラ校で教鞭をとっていました。彼女は博士号を取得しました。2005年にノースウェスタン大学でジェンダー研究の修了証を取得し、学際的な演劇と演劇で博士号を取得。2001年にシカゴのイリノイ大学でスラブ言語と文学の博士号を取得。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988